

「東アジアの人文知」主催

第1回国際フォーラム「越境する人文知」

2015年7月29日(水)

戸山キャンパス 39号館 6階 第7会議室

7月29日(水)午後1時30分から戸山キャンパス 39号館 6階第7会議室にて、総合人文科学研究センター研究部門「東アジアの人文知」主催の第1回国際フォーラム「越境する人文知」が開催された。

今年度より開かれたこの国際フォーラムは早稲田に集う新進気鋭の訪問学者・交換研究員の方々に本学での研究成果を発表して頂き、共に議論する学術交流の場として設けられた。本フォーラムは部門研究代表の千野拓政教授の開会挨拶から始まり、総勢7名の研究者が順次研究発表を行った。発表者、コメンテーター、通訳者は次の通りである。

1. 蔣蓓(上海師範大学講師)

「名詞就職成分の生起順序について」(日本語) コメンテーター: 屠潔群

2. ケンダル・ハイツマン(アイオワ大学助教)

「安岡章太郎と戦後における幕末—『アメリカ感情旅行』を中心に—」(日本語)

コメンテーター: 鳥羽耕史(本学教授)

3. 陳力君(浙江大学副教授)

「中国現代小説の貧困テーマを読み解く(解读中国现代小说的贫困主题)」(中国語)

通訳: 長岡悠子(本学学生)

コメンテーター: 千野拓政(本学教授)

4. 宮浩宇(南京師範大学副教授)

「戦前の南京国民政府における映画検閲制度新考(战前南京国民政府电影检查制度新考)」(中国語)

通訳: 宮崎壮玄(本学学生)

コメンテーター: 千野拓政(本学教授)

5. 段書曉(復旦大学博士後期課程)

「列強の表象——第一次世界大戦時期の「東方雑誌」を読む」(日本語)

コメンテーター: 千野拓政(本学教授)

6. 王基倫(台湾師範大学教授)

「漢語の音声リズム: 古代散文と現代散文(漢語的聲音節奏: 古代散文與現代散文)」(中国語)

通訳: 楊駿驍(本学学生)

コメンテーター: 千野拓政(本学教授)

7. 趙鉄鏢(中山大学博士候補生)

「日本所蔵の『七如居士所繪戲劇八齣』および作者の會衍東について(日本所蔵『七如居士所繪戲劇八齣』及其作者會衍東)」(中国語)

通訳: 渋谷君也(本学非常勤講師) コメンテーター: 岡崎由美(本学教授)

各研究者の発表後は質疑応答、意見交換が行われ、本国際フォーラムは本学の鳥羽耕史教授の閉会挨拶をもち、午後6時10分頃に終了した。

日本、中国、アメリカ、台湾と4か国の研究者が一斉に集まり、それぞれのテーマについて活発な議論が行われた本国際フォーラムは盛会且つ有意義な会であった。

なお、閉会后、参加者有志で懇親会を行い、互いの交流を深めた。次回国際フォーラムは、今年度後半に開催する予定である。

(報告：柳下恵美)

